

富岡製糸場と深谷人

【第6回】

瓦・煉瓦の御用達掛

れんが ごようたしがかり
葦塚直次郎 その①

私の手元に、直次郎のひ孫葦塚三郎氏発行の、『葦塚家中興の祖葦塚直次郎・美寧を偲ぶ』という本があります。
尾高家初代磯五郎は藍玉製造・油・雑貨などを商っていたので屋号を油屋と称していました。磯五郎の家には吉見村の久保田熊次郎が搾油工として、同じく太田村の武井銀が家事使用人として住み込みで奉公していました。

熊次郎はその後、銀を娶り二人の間に文政六年（一八一三）十月長男として久保田直次郎（後の葦塚直次郎）は生まれました。この点から直次郎の生誕の地は、尾高惇忠と同じ下手計村という事になります。
また、明戸村の葦塚仙之助も、尾高家と同じく油を商っていました。屋号を油屋と称し、尾高家と油屋を通じて互いに交流があった。

りました。

文政十二年（一八二九）久保田親子は、その葦塚家に養子として入り、家業を継ぎました。仙之助に後継ぎがないため、磯五郎の紹介で結ばれた縁でした。

明治四年（一八七一）富岡製糸場建設の全権を委任されていた尾高惇忠の下で、直次郎は瓦および煉瓦などを扱う『御用達掛』となり、建設現場のまとめ役となりました。これは、建築資材である煉瓦の調達に苦心していた惇忠が、渋沢栄一と相談し、深谷の瓦製造に着目して、国産煉瓦製造をかつての同志直次郎に依頼したことに起因します。

直次郎は、直ちに深谷宿、明戸村、新戒村の瓦製造職人を呼び寄せ、フランス人技師プリユナから直接煉瓦の製造法を聞き、現在の群馬県甘楽町福島の笹森稲荷神社東側で窯を築き、大量製

造可能な煉瓦と瓦の焼成窯を完成させました。直次郎や多くの職人などの尽力により、明治五年（一八七二）七月、着工から一年五か月の短期間で完成しました。
明治三十一年（一八九八）一月二十七日に、直次郎は七十六歳で亡くなりました。墓は二つあり、一つは群馬県富岡市・龍光寺の葦塚家の墓地。もう一つは深谷市内・阿弥陀寺の葦塚家先祖代々の墓地。直次郎は生前中に建立していて、その墓碑の文章と書を尾高惇忠にお願いしています。

（文：荻野勝正）



▲葦塚直次郎は富岡製糸場建設資材調達のまとめ役

近代産業と官営製糸場

富岡製糸場は明治政府の富国強兵・殖産興業政策のもとに、日本の命運をかけて建設された官営の製糸場である。日本の産業革命の先駆けともいえる製糸場は全国各地に大きな影響を与え、世界の生糸産業・絹産業をリードした。

（『富岡製糸場「絵手紙かるた」』NPO法人富岡製糸場を愛する会 より）



※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

市長の深い話

深谷市長 小島 進



1位を目指して

皆さん存じの通り、6月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されました。深谷市は、富岡製糸場の設立に深く関わった渋沢栄一・尾高惇忠・葦塚直次郎という3人の偉人を輩出しています。このことが縁となり、富岡市とは友好都市提携協定を締結し、さまざまな分野で交流していますので、このたびの世界文化遺産登録は本当にうれしく思っています。

『富岡製糸場と絹産業遺産群』が世界文化遺産登録で盛り上がった6月、深谷市としてももう一つうれしいことがありました。それは、

大人気の『ふっかちゃん』が、多くの皆さんのご支援により、めでたく誕生4周年を迎えることができました。

深谷ビッグタートルで行われたふっかちゃんの誕生4周年を祝う『ふっかちゃんバースディパーティ』FUKAYA2014には、市内外から1万2,000人もの方々と36体のキャラクターがお祝いに駆け付けてくれました。

ふっかちゃんは、ゆるキャラグランプリで3年前の第6位から昨年の第4位と、毎年1つずつはありますが着実に順位を上げています。

今年は深谷まつりの会場であるキャラグランプリ2014への出場表明を行い、7月29日に正式にエントリーを行いました。今年は各種団体や企業の皆さん、そして市民の皆さんと一緒に、1位を奪取するためにさまざまな取り組みを行います。

ゆるキャラグランプリ2014の投票開始は9月2日（火）です。10月20日（月）の投票期限までの2か月弱、ふっかちゃんが1位となれますよう、どうぞ、より一層のご支援とご協力をお願いします。

ありがとうの手紙



優秀賞

小学校低学年の部
いもうとへ

大寄小学校1年（現2年） 新井樹 さん

はるか、うまれてきてくれてありがとう。

おかあさんのおなかに、あかちゃんがいるってしったとき、やっとおにいちゃんになれる、やったーってうれしかったんだ。

ぼくがおなかにおはなしすると、どんどんけておへんじしてくれたよね。はやくいっしょにあそびたいなってわくわくしたよ。

おにいちゃんをみると、にこにこするはるか、はやくいっしょにさっかーしようね。

みんなの声BOX

Q 自宅が古く、地震の際に倒壊しないか心配です。何か安全性を調べる方法はないですか？

A 市の補助制度をご活用ください。

市では、既存住宅の耐震診断や木造住宅の耐震化に関する補助制度を行っています。詳しくは、電話でお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

問い合わせ
建築住宅課
☎574-6655

